



神流



「劍」 松口月城 書



「吟」 松口月城 書



劍豪日比野雷風を憶う 松口月城

ふうぼう 魁偉 猶 眼に 在す
ふうぼう かいい なお まなこ ぞん

そうけん 想見す 雷風 斯道 勲し
そうけん らいふう しどう いさお

いきよう 遺教 千年 長なえに 滅せず
いきよう せんねん とこし めつ

しんとう 神刀 閃く處 妖氛を 斬る
しんとう きらめ ところ ようふん き

御挨拶



両毛五市吟詠剣詩舞道協議会
会長 鈴木 岳鷹

るものなら誰でも一度は耳にしたことがあると思われます。

平成二十三年には、その開祖の誕生百五十年祭の記念大会が盛大に催されたと聞いております。

本日は、その「神刀流」の伝統を持って、足利市、桐生市、太田市と両毛市区に活躍の場を広げておられる、重信正利先生の許に、多くの方々が集われ大会を開催されますことは、非常に意義のあることと深く敬意を表するものであります。

この大会を契機に一層組織の結束を強められ、益々のご発展を祈念申し上げます、私の祝辞とさせていただきます。

薫風爽やかに新緑が目染みる皐月、この好き季節に、ここ太田市社会教育総合センター 大ホールにおいて全国神刀流群馬大会が盛大に催されますこと、両毛五市吟詠剣詩舞協議会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

「神刀流」は開祖日比野雷風先生によって興され、先生のお名前は吟詠剣詩舞に関係す



神刀流
宗家 日比野 正晴

この度、群馬県太田市社会福祉教育総合センター大ホールに於いて、全国神刀流群馬大会が開催されます事、心より感謝申し上げます。

今回の全国神刀流群馬大会にご尽力を賜りました神刀流神生館・神刀流(神正派)吟道会の諸先生方、大会役員の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

明治三十三年頃、桐生市において神刀流開祖日比野雷風直門の菊池正善先生が剣武道場を開き、その門人であった野本正始・野本正光兄弟が大正元年に創設したのが神刀流神生館であります。その後、野本正達・野本正晴両先生に継承され、現在、神刀流総本部理事長を務めます重信正利先生に至っております。

ります。

神生館は、一〇七年もの永きにわたり神刀流の伝統を守り続けており、心より敬意と感謝を申し上げます。

また、神刀流(神正派)吟道会の源流をたどりますと、神刀流開祖日比野雷風の直門 岡田正信先生が、大正十五年、日比野雷風没後に直門代表として、私の父 日比野正明の剣術指南役を行っていたことが神刀流一門の中に伝わっております。戦後、岡田正信先生は、神正流を創設し鈴木正広先生へと継承され、現在、神刀流(神正派)吟道会の笹野正廣先生に至り、神刀流総本部一門として伝統を守り継承していただいていることに、心より感謝申し上げます。

群馬県、栃木県には神刀流開祖日比野雷風と御縁のある先生方がたくさんいらっしゃいます。

今後とも神刀流一門および各流各会諸先生方、斯道発展のためにご活躍される事を祈念してご挨拶とさせていただきます。



神刀流総本部 理事長
全国神刀流群馬大会
会長 重信 正利

風薫る五月の好季節、群馬県太田市社会教育総合センター 大ホールにおいて、本日、全国神刀流群馬大会が盛大に開催されますことは、神刀流一門にとって、最上の喜びであります。

明治二十三年に神刀流が創流されてより、百二十七年もの永きに亘り脈々と受け継がれ、いまや北海道から九州に到る日本全国はもとより、ブラジルをはじめ海外諸国にまで神刀流の名は広まっております。この名を後世に引き継ぐことは我々の務めであり、責務としてやりとげなければならぬことでもあります。それには、神刀流の基本技をしつかりと身につけることが大切な事であり、ここ数年続けてきた、神刀流の基本技である「日

本刀を詠ず」のコンクールは、世界に広まった神刀流が一つになる大切な試みであると思えます。

時代の流れに合わせ、新しい技を取り入れ、基本が出来ていけば、流統を大きく逸脱することはありません。それが「流」であります。今大会が神刀流の新たな第一歩となる事を、心より願っております。

この大会開催に際しては神刀流(神正派)吟道会の笹野正廣実行委員長とその一門の方々のご尽力に感謝申し上げますと共に会館の担当係員様、ご支援を戴いた太田市教育委員会議会様、上毛新聞社様、他多くの皆様に対し、心より厚く御礼申し上げます。

尚、大会運営は、神刀流(神正派)吟道会共々、一同協力して準備して参りましたが、何かと不行き届き、ご不満も多々あるかと存じます。何卒御容赦いただき、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



神刀流の解説

我国、現代剣舞の祖と言われる神刀流開祖日比野雷風について述べます。

神刀流剣詩舞道・居合道・居合抜刀術は、開祖日比野雷風が明治二十三年に創始したものです。その頃は明治維新の後で、西洋の文化を直輸入していた時であり、武道などは顧みる者もいなかった時代でした。開祖雷風はこれを非常に残念に思い、一人剣を持って立ち、ついに一派を開いて神刀流となづけて、撃剣(当時剣道のことを剣術・撃剣と呼んでいた)居合道・居合抜刀術を指導してまいりました。しかし、この激動する時代に、幽遠なる剣道の奥義を体得する事は学ぶ人にとって容易なことではなく、時代に適応した奥義を極める近道はないかと苦心を重ねている中、明治二十二年十二月の帝国大学における剣道の試合を観覧していた、皇太子お付武官の杉山直弥大佐が、隣席の開祖雷風に、「むかし、中国においては剣舞は剣法の奥義としてあった。すなわち詩を吟じ、士気を鼓舞し、剣

を振って決死の勇を起して敵中に切り込む。この剣舞から始めて剣法が生まれたということであるが、わが国でも国民の士気高揚のため、武士道精神の普及に力を貸してほしい。」と語った。開祖雷風も深く感ずるところがありこれを研究しようと思いを決し、漢学者で文学博士の重野安澤先生を訪ね、この話をして意見を述べたところ、博士も非常に喜び、大いに我国の国粹たる武士道を教え普及させるため犠牲的な覚悟を持って完成に努めるべきだと勧められた。これに力を得て、日本古来の剣術、居合術、柔術の三法に芸術的色彩として舞の要素を取り入れ完成したのが神刀流剣武術です。

従って、神刀流では一挙手一投足がことごとく武道に沿っていることから、剣舞とはいわず剣武とよんでいます。

現在の神刀流は剣武道、詩舞道、居合道、居合抜刀術、吟詠道からなり、伝統を継ぎ日々研鑽しております。詳しくは、神刀流ホームページをご覧ください。

<http://www.shintoryu.jp/>

日時 平成二十九年五月二十一日(日) 午前九時三十分開場 十時開演
会場 太田市社会教育総合センター 大ホール

全国神刀流群馬大会

後援 太田市教育委員会・太田市文化協会
両毛五市吟詠剣詩舞協議会
上毛新聞社

主催 神刀流総本部
神刀流神生館
神刀流(神正派)吟道会

尺八伴奏 島田 萌堂 先生

一、開会式

開会のことば	大会実行委員長	笹野 正廣
国歌斉唱	大会実行委員長	笹野 正廣
物故者に対し黙祷	大会会長	重信 正利

二、修祓

神刀流神刀館茨城本部長 越智 勝流
祝詞(故)神刀館館長関根正光先生の肉声(CD)
四方浄め
天地・前・足払い

三、神刀流 剣武コンクール

【演武要領】

- 一 「日本刀を詠ず(蒼竜)」をもって実施する
- 二 稽古着・鉢巻・刀・素足とする
- 三 名前を呼ばれたら大きな声で返事をし、下手より進み出て国旗に一礼、中央に進む
- 四 吟は、神刀流指定のCDを使用する
- 五 吟題・作者が読み上げられたら正面に一礼し、吟に合わせて演武を行う
- 六 演武終了後は、正面に一礼し、上手へ向かい、途中国旗に一礼して退場

幼年の部

- ① 伊藤 咲耶
- ② 佐野 愛羽
- ③ 土屋 翼
- ④ 渡辺 翔太

青年・一般一部

- ⑧ 松坂 あすか
- ⑨ 小林 美涼
- ⑩ 伊藤 大華

一般二部

- ⑪ 伊藤 紀彦
- ⑫ 中村 祐次
- ⑬ 石川 未知生
- ⑭ 篠原 愛子
- ⑮ 澤 恵
- ⑯ 佐久間 崇之
- ⑰ 山中 吉男
- ⑱ 木村 登
- ⑳ 工藤 幸男

審査委員

- 監修 日比野 正晴
- 審査委員長 重信 正利
- 審査副委員長 工藤 正桂

少年の部

- ⑤ 小林 弘熙
- ⑥ 工藤 晴矢
- ⑦ 土屋 勇斗

一般三部

- ⑫ 中村 祐次
- ⑬ 石川 未知生
- ⑭ 篠原 愛子
- ⑮ 澤 恵
- ⑯ 佐久間 崇之
- ⑰ 山中 吉男
- ⑱ 木村 登
- ⑳ 工藤 幸男
- ㉑ 山崎 和久
- ㉒ 堀内 周子

- 遠藤 正仁
- 浜島 秀鶯
- 紫村 正憲
- 越智 勝流
- 菅野 正廣

四、模範演武

5	4	3	2	1
剣武	剣武	剣武	剣武	剣武
一般三部	一般二部	青年の部	少年の部	幼年の部
神刀流神刀館茨城本部	神刀流中南米本部 セザル・オルチス・ロハス	神刀流神風館	神刀流神風館	神刀流神風館
上岡富子		窪田任活	佐野心羽	佐野一羽
C D	C D	C D	C D	C D

五、会員演武(一)

コ…コンダクター

7	6
剣武	剣武
日本刀を詠ず 水戸光圀	不識庵機山を撃つ の図に題す 頼 山陽
(吟)神刀流神刀館茨城本部館長 越智 勝流	神刀流神風館 佐野 一羽 佐野 心羽
中村 祐次	
C D	

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
劍武	劍武 居合	詩舞	拔刀 居合	詩舞	拔刀 居合	劍武	劍武	劍武	劍武	劍武	拔刀 居合	詩舞	詩舞	劍武	劍武	居合	劍武	劍武	劍武
本能寺	居合 三本 日本刀を詠ず	京都東山	居合 試斬り	和歌 東風ふかば	組試斬	垓下の歌	楠公を詠ず	不識庵機山を撃つ の図に題す	本能寺	城山	神刀流居合 試斬り	寒梅	金州城下の作	不識庵機山を撃つ の図に題す	曾我兄弟	居合 五本	不識庵機山を撃つ の図に題す	絶命の詩	坂本龍馬を思う
頼山陽	水戸光圀	徳富蘇峰		菅原道真		項羽	本宮三香	頼山陽	頼山陽	西道僊		新島襄	乃木希典	頼山陽	松口月城		頼山陽	黒澤忠三郎	河野天籟
(吟)神刀流神生館 神刀流神生館	(吟)神刀流北海道本部 神刀流柳蛙会 総師範	(吟)神刀流(神正派)吟道会 (吟)神刀流(神正派)吟道会	神刀流神山館	神刀流北海道本部	神刀流神風館	神刀流北海道本部	神刀流(神正派)吟道会 (吟)神刀流(神正派)吟道会長	神刀流神武嵩山館	(吟)岳精流日本吟院 取手教場	神刀流神武嵩山館	神刀流神山館	神刀流北海道本部	神刀流(神正派)吟道会 (吟)神刀流(神正派)吟道会	神刀流神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院 取手教場	神刀流北海道本部	神刀流神風館	(吟)神刀流神刀館茨城本部 館長	神刀流神風館	神刀流北海道本部
榎 護正 秀正	工藤 幸男 篠原 鴛柳	高梨 美正 蛭間 紫正	軽部 慎也	関下 正鳳	石川未知生 窪田 任活	山崎 正覺	笹野 正翔 笹野 正廣	小林 美涼	長谷川陳鷹 内村 正明 本間 龍仙	小林 弘熙	新関 勇樹 黒田 了光	工藤 正穂	蛭間 紫正 高梨 美正	佐久間崇之 三好 伸司	船戸 正誓 清野 正幸	土屋 勇斗	山中 吉男 越智 勝流	土屋 翼	澤 恵
2尺八 本	C D	7C 7D 伴奏	尺八	C D	C D	C D	3C 3D 伴奏	C D	2本 ^コ	C D	尺八	C D	8C 8D 伴奏	1本 ^コ	C D	C D		C D	C D

【昼食】

六、式典

- 一、来賓祝辞 両毛五市吟詠剣詩舞道協議会 会長 鈴木 岳鷹
- 一、宗家挨拶 神刀流 宗家 日比野 正晴
- 一、理事長挨拶 大会会長 神刀流総本部理事長 重信 正利
- 一、主催者挨拶 大会実行委員長 笹野 正廣
- 一、コンクール発表・表彰 審査委員長 重信 正利
 発表 審査副委員長 工藤 正桂

七、和太鼓

坂東和太鼓会

- 笹野 雅彦 川村 広美
- 加賀谷 伸司 加賀谷波留加
- 向田 憲司 西場 涼汰
- 野中 直美 大須 裕樹
- 橋本 愛子 古石 大資

八、会員演武(二)

コ：コンダクター

33	32	31	30	29	28
剣武	詩舞	居合	剣武	剣武	剣武
九月十三夜陣中の作 上杉謙信	唱歌入り ふるさと 岳吟	神技居合	金州城下の作 乃木希典	八幡公 頼 山陽	歌入り 白虎隊 佐原盛純
神刀流神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場 堀内 周子 落合 和山	神刀流北海道本部 工藤 正穂 澤 恵	神刀流神風館 伊藤 紀彦	神刀流神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場 上岡 富子 新井 龍善	神刀流北海道本部 工藤 晴矢	堀内 周子 中川 敬子 越智 精麗
1 ^コ 本	C D	C D	3 ^コ 本	C D	6 ^コ 本

50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34
居合 剣武	剣武	居合 抜刀	剣武	剣武	詩舞	剣武	詩舞	詩舞	居合	詩舞	詩舞	剣武	居合 抜刀	剣武	剣武	居合
居合三本・児島高德 桜樹に書するの図に題す 齋藤監物	曾我兄弟 松口月城	居合 試斬り	加波山詠史 玉水切巖	名槍日本号 松口月城	祝賀の詞 河野天籟	児島高德 桜樹に書するの図に題す 齋藤監物	扇舞 岩佐多歌子	無心 良寛	居合 五本	祝賀の詞 河野天籟	親鸞 松口月城	逸題 橋本左内	試斬り	九月十三夜陣中の作 上杉謙信	凱旋 乃木希典	神刀流居合 五本
神刀流神刀館秦野正舟会 (吟)吟詠柳蛙会 総師範 会長 佐藤 正流 篠原 鶯柳	神刀流神生館 (吟)神刀流神生館 館長 大竹 正喜 重信 正利	神刀流神山館 佐藤 正淳	神刀流神武嵩山館 館長 小林 嵩光	神刀流北海道本部 森谷 正皖	神刀流北海道本部 関下 正鳳	神刀流(神正派) (吟)神刀流神生館 中山 愛正 大竹 正喜	神刀流(神正派) 祥虹流吟舞道 梶原 嘉祥	神刀流北海道本部 船戸 正誓	神刀流神風館 土屋 正直	神刀流(神正派) (吟)神刀流吟舞道 堀江 祥里 松島 祥細 藤崎 祥定 大金 寿楓	神刀流北海道本部 清野 正幸	神刀流神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場 上岡 富子 中川 敬子 鈴木 康男 内村 正明 三好 伸司 落合 和山 新井 龍善 本間 龍仙	神刀流神風館 土屋 正学	神刀流神風館 井上 正晋	神刀流神刀館秦野正舟会 (吟)吟詠柳蛙会 会長 篠原 愛子 篠原 洸芳	神刀流正信塾 菊池 悟
C D	1尺八 本	尺八	C D	C D	C D	6本 C D 伴奏	C D	C D	C D	C D	C D	2本 ^コ	C D	C D	C D	尺八

九、招待・賛助・吟詠演武

62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
詩吟	詩吟	詩吟	詩吟	詩吟	剣舞	詩吟	詩吟	詩吟	詩舞	詩吟	居合
母を奉じて嵐山に遊ぶ 頼山陽	江南の春 杜牧	熊本城 原雨城	海南行 細川頼之	榛名富士 萩原朔太郎	名槍日本号 松口月城	半夜 良寛	廬山の瀑布を望む 李白	吉田松陰遺詠集より 吉田松陰	宝船 藤野君山	富嶽 乃木希典	居合 試斬
錦峰流吟詠会 宗家・会長	翠晴流吟道会 宗家	峰月流吟道会	錦峰流吟詠会	秀風流吟詠会 秀風流宗家二代目	天正流吟剣詩舞会 会長 (吟)天正流吟剣詩舞会	神正流渡瀬吟詠研究会 館林市詩吟連盟 相談役	吟詩弥洲流	弥生吟友会 会長	岳心流東栄愛吟国風会	正峰流吟道連合会	起倒流
浅田秀鳳	小林翠晴	長岡孝月 斉藤恍月 志賀醉月 関根峰月 川島翔月 坂田倅月 鴛田煌月 菊池紅月	高橋泊峰 堀越鶴鳳 武政栄鳳 真尾慶鳳 山藤誠鳳	田中勝風	堤天清 佐々木勝司 深堀福市 駒形天浜	神村泰堂	相沢弥洲 須藤瑞洲 坂村鶯邑 山中月水 青山くにえ	坂田吟泉	川島心崑 諏訪心春 堀越心誠 福田心泰 小山心孝 石川政夫	久保田暁峰 女子10名	梅沢敏夫
C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	尺八

68	67	66	65	64	63
詩吟	詩吟	詩吟	劍舞	詩吟	詩吟
汪倫に贈る 李白	廬山の瀑布を望む 李白	平泉懐古 大槻磐溪	劍舞歌謡吟詠 龍虎 川中島 頼山陽	辞世 吉田松陰	常盤孤を抱くの凶に題す 柳川星巖
吟詠アカデミーガクヨウ 会長 両毛五市吟詠劍詩舞道協議会 鈴木 岳鷹	佐野市吟詠劍詩舞道協議会 会長 島田 萌堂	神正流館林吟詠会 会長 館林市吟詠劍詩舞道連盟 理事長 岩田 憲翠	桐生吟劍詩舞道連盟 会長 (吟)心彰流心純詩道会 高田 禎彰 広町 心純	岳風鳥粹吟詠会 会長 今野 岳興	峰月流吟道会 宗家・会長 関根 峰月
C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D	C 伴奏 D

十、会員・役員演武

コ：コンダクター

80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69
詩舞	劍武	劍武	劍武	詩舞	居合	劍武	拔刀 居合	詩舞	劍武	居合	居合
富士山 石川文山	九月十日 菅原道真	前兵児の謡 頼山陽	將に東遊せんとして 壁に題す 釈月性	浦島太郎 松口月城	神刀流居合 五本 試斬り	吉次峠の戦い 佐々友房	居合 試斬り	奥野細道(平泉の一節) 松尾芭蕉	楓橋夜泊 張継	神刀流居合 五本	神刀流 形五本
神刀流劍士 (吟)神刀流(神正派)吟道会 全員	神刀流 宗家 (吟)吟詠柳蛙会 会長 日比野 正晴 篠原 洸芳	神刀流神生館 館長 (吟)神刀流神生館 重信 正利 大竹 正喜	神刀流(神正派)吟道会 会長 (吟)神刀流(神正派)吟道会 笹野 正廣 久保田明正	神刀流北海道本部 代表 工藤 正桂	神刀流総本部特別相談役 神刀流正信塾 田村 正敬	神刀流神刀館茨城本部 館長 (吟)岳精流日本吟院取手教場長 越智 勝流 越智 精麗	神刀流神山館 館長 遠藤 正仁	神刀流神秀館 館長 浜島 秀鶯	神刀流神皇館 館長 紫村 正憲	神刀流正信塾 代表 岩谷 正信	神刀流中南米本部 代表 セザル・オルチス・ロハス 尺八
7 C 伴奏 D	C D	6 尺八 本	2 C 伴奏 D	C D	尺八	6 C 本	尺八	C D	C D	尺八	尺八

十一、大合吟

劍豪日比野雷風を憶う

先導

笹野 正廣

尺八
2本

十二、閉会式

万歳三唱

大会実行副委員長

遠藤 正仁

閉会のことば

十三、記念撮影

懇親会(雄飛荘)

司会・進行

笹野 正廣

木村 登正

アトラクション

津軽民謡

津軽三味線

津軽民謡・太鼓

成田 雲竹女

矢吹 和之

福士 あきみ

大会役員

宗家

大会会長

大会実行委員長

大会実行副委員長

総務・会計

コンクール

審査員

集票

集計

賞状

受付

司会

連絡・進行

会場・接待

昼食

舞台

式典

ビデオ

写真

救護

日比野正晴

重信 正利

笹野 正廣

工藤 正桂・遠藤 正仁

柴村 正憲・佐藤 正淳・笹野 正和

剣武コンクールの頁に明記

高梨 美正・高柳 良子・関下 正鳳・工藤 正穂

本間 龍仙・新井 龍善

田村 宮子

大竹 正喜・田中 宣子・斉藤 恵美子

中川 敬子・上岡 富子・堀内 周子

蛭間 紫正・笹野 正和・木村 登正

大竹 正喜・榎 護正・高柳 忠男

高梨 美正・高柳 良子・須永 輝一・大竹 久雄

中山 愛正・斉藤 久江・斉藤 やす子

久保田 明正・榎 秀正・本間 進・平賀 喜一

佐久間 崇之・長谷川 陳鷹・山中 吉男

笹野 正廣・越智 勝流

落合 和山・中村 祐次・三好 伸司・内村 正明

笹野 拓宏・工藤 幸男

田中 宣子・斉藤 恵美子

神刀流剣武道・居合道
神生館

総本部理事長
館長 重信 正利

副館長
事務局長 大竹 正喜

事務局会計 中山 愛正

幹事 榎 護正

本部 〒326-0141 栃木県足利市小俣町342-5

TEL 0284-62-0446

剣武道・詩舞道・居合道・吟詠道

神刀流総本部

宗家 日比野 正晴

理事長 重信 正利

副理事長

副理事長

工藤 正桂 遠藤 正仁

事務局：茨城県取手市野々井1060-37 越智 勝流

TEL/FAX 0297-78-2071

〈神刀流ホームページアドレス〉

<http://www.shintoryu.jp/>

神刀流

検索



剣武道・詩舞道・居合道・吟詠道

神刀流 北海道本部

相談役

木俣 舞政

相談役

山野 正鋒

相談役

国田 正香

相談役

吉田 正松

本部長

工藤 正桂

副本部長

森谷 正皖

副本部長

今野 正歩

副本部長

前 正峯

副本部長

瀧澤 正邦

副本部長

山本 正倮

〒080-0021 北海道帯広市西11条南18丁目2番地

電話(0155)25-3556



全国神刀流群馬大会

神刀流(神正派)吟道会

会 長 笹野 正廣

〒373-0004 群馬県太田市強戸町1987

TEL 090-4599-1776 FAX 0276-37-3176

神刀流 (神正派)

祥杠流吟舞道本部役員

祥杠流吟舞道 宗家 松永 悠楓

財団法人日本吟剣詩舞振興会 元老 コロンビア吟音会 正会員
栃木県吟剣詩舞道総連盟 常任顧問 コロンビア舞踊研究会 講師
日本吟道奉賛会栃木県 地方本部長 コロンビア舞踊研究会 名誉理事
全国朗吟文化協会 顧問

名誉顧問	副理事長	常任理事
笹野 正廣	堀江 祥里	小玉 祥麗
名誉顧問	副理事長	常任理事
大島 悠正	大金 寿楓	五十畑 祥詠
常任相談役	副理事長	常任理事
梶原 嘉祥	松島 祥細	藤崎 祥定
常任相談役	副理事長	常任理事
天下井 敏祥	田口 容悠	武井 祥志
理事長	副理事長	常任理事
杉田 悠昇	八森 悠生	大舘 祥美

〒329-4311 栃木県栃木市岩舟町古江849
TEL 0282-55-2140

居合道・居合抜刀術

神刀流 神山館

一般社団法人 日本抜刀道連盟
山形支部

館長 遠藤 正仁
副館長 佐藤 正淳
松永 正真
坂本 栄一

松永 真亮 新関 功樹
軽部 慎也 新関 勇樹
黒田 了光 黒田 勇斗
中村 萌夏

〒990-2444 山形県南四番町6-27
TEL・FAX 023-634-2260 携帯 090-1932-6268
随時練習生募集 年齢、男女、問わず 学生OK

神刀流劍詩舞道

神刀流 神秀館

神刀流總本部 専務理事
館 長

浜島 秀鶯

理事長

田辺 秀城

〒167-0032 東京都杉並区天沼3-39-12

TEL 03-3392-7295

神刀流 神皇館

神刀流總本部
事務局総務
館 長

紫村 正憲

〒193-0824 東京都八王子市長房町230-84

TEL 0426-65-3141



全国神刀流群馬大会

神刀流劍武道・居合道・詩舞道

神刀流 神刀館

茨城本部

本部長 越智 勝流

中川 敬子 上岡 富子 堀内 周子
佐久間崇之 長谷川陳鷹 山中 吉男
中村 祐次

〒302-0032 茨城県取手市野々井1060-37

TEL・FAX 0297-78-2071

URL <http://www.occyan.com/>

神刀流 居合術

神刀流 正信塾

塾長 岩谷 正信
菊地 悟

〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2763-6
TEL 04-2934-6601 FAX 04-2934-3055



全国神刀流群馬大会

神刀流 神武会
居合・剣武道

会長 山本 兼正

総本部 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-3
TEL 03-3262-8313



全国神刀流群馬大会

神刀流 神武嵩山館
居合・剣武道

館長 小林 嵩光

嵩山館道場 〒277-0825 千葉県柏市布施647-2
TEL/FAX 04-7131-8619
神武会総本部 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-3



全国神刀流群馬大会

神刀流 神武晃徳館
居合・剣武道

館長 山本 浩正

神武会総本部 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-3
TEL 03-3239-2014



全国神刀流群馬大会

劍武・居合・居合拔刀術

神刀流神風館

館長 土屋正廣

〒418-0037 静岡県富士宮市安居山706-24

TEL 0544-27-6060 FAX 0544-25-3700

神刀流 劍武道・居合道

神刀流神刀館

秦野正舟会

会長 佐藤 正流

顧問 堀崎 劍仁

〒252-0302 神奈川県相模原市南区上鶴間8-9-3
(事務局) 篠原 愛子

TEL/FAX 042-705-3274

神刀流劍武道・吟詠道

神刀流 神尚館

館長 望月 勇

〒418-0112 静岡県富士宮市北山1163

TEL/FAX 0544-58-1008



株式
会社 **関東鋳油**

〒376-0002

群馬県桐生市境野町 2-739

TEL 0277-20-7110

FAX 0277-20-7113

神刀流 吟詠道

神刀流 静秋吟詠会

富士市吟詠連盟会長
会 長

大河原 正篁

〒418-0011 静岡県富士宮市粟倉459

TEL 0544-26-4059

神刀流 居合・剣武道

神刀流 富士神刀館

館 長 **若月 正香**

〒421-3305 静岡県富士市岩淵1556-4

TEL 0545-81-3368

青竹・手打ち・ラーメン

おお竹

〒327-0826 栃木県佐野市茂呂山町2-12

でんわ (0283)21-2549

手彫り印章専門店

機械彫刻しないので世界に一本だけの印が出来ます

天陽堂印房

〒326-0141 栃木県足利市小俣町342-5

TEL/FAX (0284)62-0446

中古車販売・引取・廃車買取
中古部品・タイヤ販売・無料査定
海外輸出



eco-R

株式会社 エコアール

〒326-0324

栃木県足利市久保田町838-1

TEL (0284)70-0780

FAX (0284)72-1711



和生菓子

峯岸大和屋

〒373-0033 群馬県太田市西本町19-10

TEL/FAX (0276)22-4454

東京海上日動あんしん生命
東京海上日動火災保険

代理店
有限会社 **ベスト保険クラブ**

〒370-0344 群馬県太田市新田早川町545

TEL (0276)56-5813

FAX (0276)56-5814

文化財修復・組子建具
各種木製建具・家具

斉藤建具

代表 斉藤 正男

〒370-0321

群馬県太田市新田木崎町1723-12

TEL/FAX (0276)56-3847

個人・企業をとりまくさまざまな
リスクをトータルサポート！！

保険のプロによるベストな
アドバイスをご提案！！

交通事故相談
生命保険見直し相談
リスクマネジメント

株式会社 **あんしんサポート**

0276-56-9025

〒373-0806 群馬県太田市龍舞町1322-1

ansin-support@if-n.ne.jp

<http://www.tmn-agent.com/khinsurance/>

優秀電気工事業者認定 群馬太田13号

東京電力外線引込請負工事店

電圧受電設備工事 電灯・動力・電気配線工事

金子電気商会

代表取締役 金子 晴信

〒373-0011 群馬県太田市只上町1690-2

TEL (0276)37-4426 FAX (0276)37-4453

E-mail d-kaneko@sky.plala.or.jp

給排水衛生設備・施工・保守管理

マコト設備

〒326-0842 栃木県足利市今福町295-5

TEL・FAX (0284)21-8316

祝

全国神刀流群馬大会

外壁塗装・屋外防水 技能士の店



有限
会社

ささの産業

〒373-0061

群馬県太田市鳥山上町1035-1

TEL.0276-37-0757

デザインから印刷まで!
あなたの作成したデータも
綺麗に印刷いたします!

業 務 内 容

会社案内・PR誌・社内報
機関紙・書籍・雑誌・新聞広告
名刺・チラシ・封筒・伝票
屋外広告・ディスプレイ
ダイレクトメール
カタログ・ポスター
シンボルマーク・ロゴタイプ
イラストレーション・カレンダー
ラベルステッカー
パッケージデザイン
フォト撮影・CD製作
各種インターネット関連
etc.

ここぞという時。



有限会社 金山印刷

〒373-0819 群馬県太田市新島町771-2
TEL 0276-45-3551 (代) FAX 0276-47-0290
E-mail kana-pri@seagreen.ocn.ne.jp

アルミサッシ・ガラス・住宅設備機器

有限会社 **大島ガラス**

〒373-0846 群馬県太田市中根町506-4

TEL (0276)31-1934

FAX (0276)56-1931

一般建築・リフォーム

須永建設

〒373-0006 群馬県太田市成塚町716-2

TEL 090-5426-8041

一般建築塗装・リフォーム

塗装佳伸工業

〒373-0004 群馬県太田市強戸町1987

TEL (0276)37-1908

FAX (0276)37-3176

一般建築・リフォーム

本間組

〒370-0401 群馬県太田市尾島町43-2

TEL (0276)52-1924

090-9147-2898

稀銭堂美術刀剣店

鏑木 國昭

〒376-0046

群馬県桐生市宮前町1丁目6番44号

電話 (0277)22-0449

木材・新建材
各種住宅機器 販売

有限会社 **糸井木材**

〒370-0314

群馬県太田市新田市野井町1529-3

電話 (0276)57-0090

総合タイル工事

柿沼タイル工業

柿沼 一郎

〒370-0303

群馬県太田市新田小金井町293-9

TEL (0276)57-2178

FAX (0276)57-3408

木製建具・アルミサッシ・硝子一式

有限会社 **石原木工**

石原 忠

〒373-0061

群馬県太田市鳥山上町1514-3

電話 (0276)37-0736

寄 附

萩原 博子 (東京都)

金子 洋一 (太田市)



各種塗料・溶剤・塗装機器
内外装壁材・防水資材販売

有限会社

つばめ塗料店

〒373-0015

群馬県太田市東新町 645-1

TEL (0276)37-6789

FAX (0276)37-6777

今日を愛する。
LION

今日を磨けば、
明日が輝く。

かんでもない 今日を生きていく
わたしらしく 明日を生きていく

はみがきしよう

お風呂にはいろ

おうちにかえって

♪ 今日もいちにち はたらいた
いいわけしないで がんばった